

2025 年 6 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号 2 4 9 8)
問合せ先 取締役統括本部長 橘 義 規
TEL 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル 土木学会賞 技術賞・国際貢献賞・国際活動奨励賞・技術功労賞 受賞

2025 年 6 月 13 日、ホテルメトロポリタンエドモントにおいて、公益社団法人土木学会が令和 6 年度土木学会賞の表彰式を行い当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二）が携わった「モザンビーク共和国・ナカラ港開発事業（第一期および第二期）」が、技術賞(Ⅱ)を受賞しました。また、同社 道路技術部 脇田雄一さん（わきた ゆういち）が国際貢献賞を、道路交通事業部副事業部長 小國磨さん（おぐに たくま）が国際活動奨励賞を、港湾部参事 鈴木雅人さん（すずき まさと）と道路交通事業部技師長 大橋治一さん（おおはし はるかず）が技術功労賞を受賞いたしました。

【関連リンク】 土木学会 HP： [公益社団法人 土木学会賞 令和 6 年度受賞一覧](#)

【技術賞(Ⅱ) モザンビーク共和国・ナカラ港開発事業（第一期および第二期）】

ナカラ港開発事業は、日本の先進技術を活用し、コンテナターミナルの整備等を行い、地域の経済発展に寄与するための ODA 円借款事業です。本事業により新たに整備されたコンテナターミナルは、モザンビーク国のみならず、内陸国ザンビア、マラウイを結ぶナカラ経済回廊の基幹港として、地域の経済発展に大きく寄与すると期待されています。



表彰式の様子

左 土木学会長 佐々木 葉 氏
右 港湾部 プロジェクト部長 中西 雅時さん



【国際貢献賞 道路技術部 脇田雄一さん（わきた ゆういち）】

脇田さんは、約 43 年にわたり国内外の道路整備事業に従事してきました。特に海外業務では、インドネシア、ベトナム・スリランカ・バングラデシュ・モザンビークなど複数の国で、日本の ODA 資金や JBIC/JICA 資金、世界銀行/イスラム開発銀行資金、民間高速道路資金等、様々なドナーの F/S 業務・設計業務・施工管理・プロジェクト・マネジメント・コンサルト(PMC)業務に従事し、当該国の発展に大きく寄与しました。



アフリカの子どもたちと
中央 脇田雄一さん

【国際活動奨励賞 道路交通事業部部長 小國磨さん（おぐに たくま）】

小國さんは、約 25 年間にわたり道路分野の専門家として、国内外のプロジェクトに携わり、日本の優れた技術を活用し、各国の生活水準向上や経済発展に貢献してきました。得にスリランカ国新ケラニ橋周辺交通改善事業準備調査やケラニ河新橋建設事業では道路設計担当としてプロジェクトに大きく貢献しました。また、現地の技術者に対する技術移転を積極的に行い、途上国の技術者のスキル向上にも寄与するとともに、今後の国際貢献を担う若手・中堅技術者の育成にも尽力しています。



小國磨さん

【技術功労賞 港湾部参事 鈴木雅人さん（すずき まさと）】

鈴木さんは、約 45 年間にわたり国内外の港湾事業に従事し、特に 30 年以上は途上国での港湾事業において、調査・設計・施工監理を統括する重要な役割を果たしてきました。特に、トンガ国内のふ頭改善計画施工監理、モザンビーク国ナカラ港設計施工監理、ケニア国モンバサ港マスタープラン技術支援など、海外の大型港湾開発事業に長年従事し、途上国の発展と土木工学の実務的進化に多大な影響を与えました。



鈴木雅人さん

【技術功労賞 道路交通事業部技師長 大橋治一さん（おおはし はるかず）】

大橋さんは、約 50 年にわたり国内外の長大橋梁の調査、設計、施工監理、維持管理に携わってきました。特に大橋さんの長大吊橋における研究は、その後のわが国の吊橋技術の発展に大きく寄与しました。また、基調講演や国内外の大学で講演を行うなど、積極的に技術の継承活動を行っており、本邦で開発された様々な技術を海外に展開・実現し、社会的に大きく貢献しました。



大橋治一さん

同社は質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱なインフラ整備を通じて、当該国の経済発展を支援しています。



以 上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
担当 広報室 富田早季
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020
[URL: www.ocglobal.jp](http://www.ocglobal.jp)